

社会福祉法人東北福祉会

**令和4年度
事業報告**

目次

1. 本部	1 ページ
2. せんだんの杜	2 ページ
3. せんだんの杜ものう	4 ページ
4. せんだんの里	6 ページ
5. せんだんの館	8 ページ
6. 認知症介護研究・研修仙台センター	10 ページ

1. 本部（法人）実施内容

<p>総括</p>	<p>法人理念の実現に向けた取り組みの指針として策定した「中期行動計画」に基づき、各種委員会やワーキングチーム等により検討と実践をした。 あわせて、経営組織のガバナンスの強化に向け、理事会において各種規程等を整備するとともに、経営会議での打ち合わせにおいて、建物の大規模修繕にかかる資金計画について検討をした。</p>
<p>実施項目</p>	<p>1. 経営組織のガバナンス強化</p> <p>(1) 理事会／年4回開催（6月10日・9月2日・12月16日・3月20日）</p> <p>(2) 評議員会／年3回開催（6月27日・12月26日・3月29日）</p> <p>(3) 監事／①決算監査：6月2日・3日 ②中間監事監査：1月20日／せんだんの杜・1月31日／せんだんの杜ものう ③公認会計士との意見交換：5月30日</p> <p>(4) 会計監査人／①期末監査の実施：5月18日・19日・20日・23日において各拠点で実施 ②期中監査の実施：10月・11月・2月・3月において各拠点で実施 ③会計監査基本方針説明会の開催：5月30日</p> <p>(5) 内部監査／新型コロナウイルス感染症のため実施せず。</p> <p>2. 各種会議・検討委員会（各委員会事業報告参照）</p> <p>(1) 経営会議／年21回開催 (2) 総務部長会議／年11回開催 (3) 人財獲得委員会／年11回開催 (4) 人財育成委員会／年12回開催 (5) 人財評価委員会／年4回開催 (6) BCP策定ワーキングチーム／年12回開催 (7) 衛生委員会代表者会議／年5回開催 (8) 支援系部長会議／年8回開催</p>
<p>主な内容</p>	<p>定款・諸規程の整備</p> <p>(1) 定款一部改正の実施 (2) 就業規則一部改正の実施 (3) 准職員及び契約職員規程一部改正の実施 (4) 給与規程一部改正の実施 (5) 経理規程一部改正の実施 (6) 組織規程の制定 (7) 公印管理規程一部改正の実施 (8) 育児休業および育児短時間勤務等に関する規則一部改正の実施 (9) 情報システム管理および運用に関する規則一部改正の実施 (10) 預り金等管理規程一部改正の実施 (11) 安全衛生管理規程の制定 (12) 電子帳簿保存法における事務処理規程の制定</p>

2. せんだんの杜実施内容

<p>総括</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 各種会議、検討会、研修等を通じ、既存のサービスにおける質の向上、職員の育成などを行い、対象者である子ども、高齢者、地域住民等一人一人に対して課題の把握に努め、“暮らしを継続”するための必要な支援を行うよう努めた。 2. 高齢、児童、障がいの枠組みにとらわれず、それぞれの特性を有効的に活用し、一人一人の生活が断ち切れることのない新たなサービス展開を検討する必要性を感じた。 3. 魅力ある職場環境の構築のため、職員一人一人との日常的な関わり、面談等を継続して行うことはできた。潜在化している課題の把握につながったことで、課題は残りながらも、魅力ある職場づくりを着実に進めていく土台となった。 4. 事業運営の検討及び人的資源の効率的な活用等についての検討、可能な限りの加算取得への取り組みを行うことができたが、新たな課題も確認ができた。令和5年度は組織の再編成をし、より支援の必要な方々に対し、必要な支援が届くよう、専門性と柔軟性をもった具体的な対策を検討し、実行していく。 5. コロナ禍においても、必要な対応を導入しながら、各種養成校等の実習生の受け入れを行うことができた。今後も、施設内等での感染症蔓延防止のための必要な対策を講じながら、積極的かつ柔軟に、次世代の育成の環境づくりに力を入れることを継続していく。
<p>実施項目</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 職員育成、チームマネジメントの再構築 2. 職場環境改善への取り組み 3. 事業所内の整備 4. 人的資源を活用した事業所間の協力体制の整備 5. コロナ禍におけるオンライン活用による事業の定着、実習受入体制の整備
<p>主な内容</p>	<p>【制度に基づく取り組み】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 個々のニーズに則した支援提供のため、各部署間の連携の強化、特別養護老人ホーム空床を活用した、緊急時におけるショートステイ受け入れ、サービスの提供を行った。 2. 目標管理制度における職員個々の目標達成のため、コロナ禍においても可能な限りの外部研修等への参加、職場への還元。 3. 職員に対するストレスチェックの実施、結果に則した事業所内対応の検討、実施。 4. 人的資源を活用した事業所間の協力体制をつくり、安定的なサービスの提供を行った。 <p>【地域における公益活動】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 地域包括支援センターにおいて、ICT活用による地域住民、圏域内事業所を対象とした会議、勉強会、相談会等を実施した。

各サービス事業の実績と目標の比較

No	サービス事業所名	定員 (人)	R 4 年度実績 (%)	R 4 年度目標 (%)	R 3 年度実績 (%)	R 2 年度実績 (%)
1	特別養護老人ホーム リベラ荘 (従来型)	36	94.3	95.0	94.1	95.7
2	特別養護老人ホーム リベラ荘 (ユニット 型)	18	87.9	94.0	93.4	88.3
3	ケアハウスフェリコ 館	30	99.8	97.0	98.4	97.0
4	せんだんの杜短期入 所生活介護事業所	16	91.5	92.0	90.8	83.7
5	せんだんの杜訪問介 護事業所 (障がい)	—	※休止中	— (時間)		
6	せんだんの杜居宅介 護支援事業所	—	871 (件)	840 (件)	858 (件)	800 (件)
7	国見ヶ丘地域包括支 援センター	—	5,037 (件)	3,360 (件)	3,315 (件)	3,355 (件)
8	杜の子ハウス(放課後 等デイサービス)	10	98.0	100	76.4	72.8
9	遊杜家(放課後等デイ サービス)	10	92.0	100	108.4	92.2
10	国見ヶ丘の家(放課後 等デイサービス)	10	92.0	100	103.9	81.9
11	国見ヶ丘せんだんの 杜保育園	99	104.9 (名)	105 (名)	104.8 (名)	104.3 (名)
12	国見ヶ丘せんだんの 杜保育園分園	28	30.0 (名)	30.0 (名)	30.0 (名)	30.0 (名)
13	せんだんの杜地域子 育て支援センター	—	114.5 (件)	300 (件)	78 (件)	106.1 (件)
14	せんだんの家(自立援 助ホーム)	暫定 9	66.7 (名)	97.0	93 (名)	86 (名)
15	杜の工房(就労支援B 型)	20	163.0	97.0	12.7 (名)	9.6 (名)
備考						

3. せんだんの杜ものう実施内容

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">総括</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 施設・事業所における新型コロナウイルス感染症が蔓延した事例があり、大幅な収入減少等を余儀なくされたが、事業の見直しや立て直しにつなげる機会として捉え取り組んだ。 2. 感染症等により地域における活動等の制限が続く中で、限られた機会を活用して関係機関・地域住民との情報交換の機会を持ち、ニーズの掘り起し・課題解決に向けた取組みの継続ができた。 3. 各種災害に対する訓練を定期的実施し、有事の際の対応力強化に努め、利用者・入居者の「命」を守るための行動力強化につなげることができた。
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">実施項目</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 職員一人ひとりが誠実な態度とホスピタリティマインドを持ち、サービス提供に取り組む 2. 地域との協働・連携を意識した活動を実践し、社会貢献と新たなサービスの創造と実践に取り組む 3. 職員一人ひとりが働きやすさや、やりがいを持てる職場環境の改善に取り組む 4. 自然災害・感染症・老朽化等対策に対するリスクヘッジを図り、安定したサービス提供に取り組む
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">主な内容</p>	<p>【制度に基づく取り組み】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 入居系サービスでは、面会等を制限せざるを得ない期間において、ビデオレターや日々の様子を写真入りの手紙等で報告を行ない、関係性が薄まらないような対応を継続して行った。 2. 在宅サービスでは、利用申し込みから利用開始までの期間を短縮することに努め、稼働状況の改善に努めた。 3. 各種災害対策として、ハザードマップを基にした被害想定による訓練を繰り返し行い、対応力の向上に努めた。 4. 感染症の蔓延事例が起きたことを契機に、対応マニュアルの見直し・実事例を基にした訓練を実施し、再発防止に努めた。 5. 光熱水費・食材料費の急激な高騰に対し、補助金を活用して高効率製品への入替、納入業者の見直し、作業工程の見直しによる経費削減に向けて取り組みを強化した。 <p>【地域公益活動】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 昨年度同様に YouTube での配信となったが、石巻・女川地区における介護人財不足解消に向けた、地区老協主催の介護・福祉フェスティバルに参画し、介護の魅力を伝える機会となった。 2. 地域包括支援センター職員を中心に、行政委員、民生委員との関係性を深め、地域にあるニーズを知ること、対応策の検討など、協力体制づくりにつなげた。 3. 宮城県が主催した、高校生と企業の交流事業に若手職員を派遣し、仕事の魅力・働くことを考えることについて講話と交流を行い、介護・福祉に興味を持つ生徒が増えるように協力を行った。

各サービス事業の実績と目標の比較

No	サービス事業所名	定員 (人)	R 4 年度実績 (%)	R 4 年度目標 (%)	R 3 年度実績 (%)	R 2 年度実績 (%)
1	特別養護老人ホームフ ァミリオ	50	93.6	98.5	98.5	96.3
2	ものう短期入所生活介 護事業	12	76.1	90.0	76.6	81.2
3	地域福祉センター通所 介護事業 (月～金)	25	74.8	80.0	80.1	75.8
4	ケアハウスフェリカ	15	96.2	99.0	94.9	89.7
5	ものう訪問介護事業	—	439.3 (時間)	500.0 (時間)	389.2 (時間)	421.7 (時間)
6	ものう居宅介護支援事 業	—	93.0 (件)	110.0 (件)	99.2 (件)	101.7 (件)
7	石巻市ものう地域包括 支援センター	—	105.3 (件)	110.0 (件)	100.8 (件)	98.0 (件)
8	なかつやま認知症対応 型共同生活介護事業	9	92.5	99.0	95.8	100.0
9	なかつやま第一通所介 護事業 (月～日)	10	70.7	80.0	76.3	77.1
10	うした認知症対応型共 同生活介護事業	9	85.4	99.0	97.9	94.8
11	うした通所介護事業 (月～日)	10	72.9	80.0	63.7	65.7
12	石巻市桃生地区第一放 課後児童クラブ	40	12.1 (人)	20.0 (人)	9.9 (人)	9.2 (人)
13	石巻市桃生地区第二放 課後児童クラブ	50	39.4 (人)	40.0 (人)	35.3 (人)	38.0 (人)
備考						

4. せんだんの里実施内容

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">総括</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 施設事業所の人員体制とサービス内容の見直しを行うと共に、次期報酬改定を見据えて段階的に加算の取得を進め、組織の活性化と収益増を目指す。 <ul style="list-style-type: none"> ➔ 人員体制の効率化及びサービス内容の見直し、さらに新規加算の取得等、掲げた目標に対する取り組みを実践することはできたが、組織の活性化及び収益（収支差額）増については課題が残った。 2. 事務費支出の圧縮、その他経費の節減により収益増を図る。 <ul style="list-style-type: none"> ➔ 職員採用に係る費用は低減することはできたが、光熱水費等の高騰により支出増を余儀なくされた。 3. 定期的な職場環境改善活動を実施し働きやすい環境、安心して過ごせる生活環境の整備を行う。 <ul style="list-style-type: none"> ➔ 管理経営職を中心に労働環境の適正化に積極的に取り組むと共に、「風通しの良い職場風土づくり」に大きく前進することができた。 4. 地域連携推進活動を促進し、社会貢献と広報・集客効果の発揮を目指す。 <ul style="list-style-type: none"> ➔ コロナ禍においても認知症サポーター養成講座やイベントのオンライン開催を継続実施できた。
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">実施項目</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 人員体制等の効率化及びLIFE関連加算の算定を行った。 2. 職場環境改善に加え、各部門が抱える課題の顕在化及びその解決のために職位間協働を行った。 3. 貝ヶ森地域の方々との協働で対面による認知症カフェの継続開催及びオンラインを活用した施設見学会等を行った。
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">主な内容</p>	<p>【制度に基づく取り組み】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 介護保険施設事業所に求められる責務を果たすと共に、労働関係法令に則った課題の抽出及び改善に向けた取り組み。 <p>【地域公益活動】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 貝ヶ森地域住民及び地域包括支援センターと協働による認知症カフェの継続開催。 2. オンライン施設見学会及びSNSや手紙を利用した情報発信、など。

各サービス事業の実績と目標の比較

No	サービス事業所名	定員 (人)	R 4 年度実績 (%)	R 4 年度目標 (%)	R 3 年度実績 (%)	R 2 年度実績 (%)
1	せんだんの里特別養護 老人ホーム	160	94.1	97.5	94.7	96.1
2	せんだんの里ショート ステイ(障がい福祉サー ビス含む)	34	72.8	82.0	80.0	75.5
3	せんだんの里デイサー ビス	30	65.8	77.0	61.9	64.8
4	せんだんの里国見ヶ丘 3丁目デイサービス	10	55.5	80.0	73.4	70.5
5	せんだんの里グループ ホーム	27	95.9	98.0	98.3	94.5
6	せんだんの里国見ヶ丘 3丁目グループホーム	9	100.0	98.0	98.8	93.2
7	せんだんの里居宅介護 支援事業所	—	90.5 (件)	100.0 (件)	91.7 (件)	93.8 (件)
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・せんだんの里ショートステイ 空調工事により定員変動あり 令和5年3月～8月の期間は23人 ・せんだんの里国見ヶ丘3丁目デイサービス 令和4年11月以降休止 					

5. せんだんの館実施内容

総括	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、在宅サービスでは前年同様に利用控えによる利用率の低下、入居についても陽性者の発生等により目標としていた入居調整期間内での入居ができず、数値目標の達成に至らなかった。一方、オンライン、リモート機器の活用等、工夫をしながら地域公益活動の実施やボランティア受け入れを行い、利用者、家族、地域住民、関係機関とのつながりを継続することができた。</p>
実施項目	<ol style="list-style-type: none"> 1. オンラインを活用してボランティアの受け入れを行い、利用者の余暇の充実を図った。 2. 5 S活動に取り組み、働きやすい職場環境の整備を行った。 3. 地域関係機関との連携を強化しながら地域公益活動を実践した。
主な内容	<p>【制度に基づく取り組み】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 介護ソフトを活用しながら他職種間の情報共有を行い、新加算（LIFE）の算定を可能とした。 2. 他職種連携のもと、利用者、家族の意向を確認しながら、20名の利用者の看取りケアを実施した。 3. 5 S活動では、特に整理・整頓に対する意識の向上がみられた。相乗効果として職員同志の思いやりをもった対応に繋がり、働きやすい職場環境づくりを進めることができた。 4. コロナ禍の対応として面会を継続し、利用者と家族が交流できる機会を確保するとともに、電話やメール等を活用して利用者の近況報告を行い、家族とのつながりを維持することができた。また、自然災害BCP訓練を2回、感染症BCP訓練を2回実施し、有事に対する対応力の強化を図った。 5. 災害復旧工事（2021年福島県沖地震）及び給湯配管修繕工事を完了し、施設保全を行った。 <p>【地域における公益活動】</p> <p>新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、オンライン・リモート機器を活用しながら地域公益活動を実施した。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①地域関係機関（北仙台地区ふくし事業所連絡会ふわっと）との合同による地域清掃活動の実施（10回） ②認知症カフェ「オレンジカフェすまいる」を開催（3回） ③北仙台小学校総合学習支援（オンライン学習、手紙や制作物のやり取り1回） ④中山小学校総合学習支援（オンライン学習2回） ⑤介護福祉士実習、社会福祉士実習等の再開（103人） ⑥国見ヶ丘地域包括支援センターへの専門講師派遣（言語聴覚士2回・管理栄養士1回） ⑦ブログの発信による情報開示の強化（34回UP）

各サービス事業の実績と目標の比較

No	サービス事業所名	定員 (人)	R 4 年度実績 (%)	R 4 年度目標 (%)	R 3 年度実績 (%)	R 2 年度実績 (%)
1	特別養護老人ホームせんだんの館	100	97.9	98.4	97.4	98.1
2	せんだんの館ショートステイ	20	76.6	78.7	93.1	89.2
3	せんだんの館デイサービス	40	63.2	78.0	70.7	71.5
4	せんだんの館居宅介護支援事業所	—	74.0 (件)	60.0 (件)	70.8 (件)	46.7 (件)
備考	給湯配管修繕工事のため、ショートステイの定員を9月～10月は10人とした。					

6. 認知症介護研究・研修仙台センター実施内容

<p>総括</p>	<p>東北福祉大学を母体とする関連研究施設及び関連福祉施設等との連携を深めながら、1. 研究事業、2. 研修事業、3. 運営事業費補助金による事業、4. その他の事業を実施した。</p>
<p>実施項目と主な内容</p>	<p>【制度に基づく取り組み】</p> <p>1. 研究事業</p> <p>1) 老人保健事業推進費等補助金による研究事業の実施</p> <p>(1) 認知症カフェの類型と効果に関する調査研究</p> <p>2) 日本学術振興会科学研究費による研究事業の実施</p> <p>(1) 身体拘束適正化に向けた行政指導・介護施設における取組の実効性に関する研究</p> <p>3) 運営事業費における研究事業の実施</p> <p>(1) 認知症介護の技術動画を活用した事業所内教育システムの開発に関する研究</p> <p>(2) 視・聴覚障害を補償する認知症介護基礎研修 e ラーニングシステムの開発に関する研究</p> <p>(3) 認知症の人と家族の一体的支援プログラムの普及促進に関する研究</p> <p>(4) 認知症ケアの観点からみた虐待防止・身体拘束適正化に関する調査研究</p> <p>(5) 認知症ケアレジストリ研究</p> <p>2. 研修事業</p> <p>認知症介護指導者養成研修、認知症介護指導者フォローアップ研修</p> <p>3. 運営事業補助金による事業</p> <p>運営協議会、外部評価委員会、全国運営協議会、認知症介護セミナー、行政担当者セミナー、認知症介護指導者スキルアップセミナー</p> <p>4. 受託事業</p> <p>仙台市認知症カフェ支援事業、仙台市認知症ピアサポート活動支援業務(認知症カフェ派遣)、宮城県認知症カフェ普及促進研修事業、厚生労働省高齢者虐待の実態把握等のための調査研究業務</p> <p>5. その他事業</p> <p>認知症介護基礎研修 e ラーニング運用事業、認知症カフェモデレーター研修、認知症を学ぶ30分ナイトセミナー</p> <p>【地域における公益活動】</p> <p>認知症カフェ(土曜の音楽カフェ♪)の実施、おれんじドア運営の支援</p>

各研修事業の実績と目標の比較

No	研 修 名	定員 (人)	R 4 年度実績 (人)	R 4 年度目標 (人)	R 3 年度実績 (人)	R 2 年度実績 (人)
1	第 1 回認知症介護指導 者養成研修	20	1 4	1 8	0 (中止)	0 (中止)
	第 2 回認知症介護指導 者養成研修	20	1 5	1 8	1 7	0 (中止)
2	第 1 回フォローアップ 研修	20	6	1 8	1 4	1 2
	第 2 回フォローアップ 研修	20	9	1 8	6	1 1
備 考	第 2 回指導者養成研修の実績 1 5 名のうち 1 名は新型コロナウイルス感染拡大の影響により 受講を中断し、令和 5 年度に未受講科目を受講して修了する予定。					

